

大切畑の『記録集』と『PR 冊子』の案を作成しました。

みなさまのお話を基に作成した大切畑の「記録集」と「PR 冊子」の案ができました。本号では概要を紹介いたします。「記録集」と「PR 冊子」の(案)は3月13日(水)に開催します全体会議でご覧いただくことができます。

■記録集 (仮)奇跡の集落 大切畑

住民の方々の体験・経験が後世への教訓となる記録集です。

第1部 集落編

- 大切畑の被害
写真と地図で大切畑の被害の状況をまとめました。
- あの日 大切畑で起きたこと
平成28年4月16日に大切畑で起きた出来事をみなさまのお話を基に作成したイラストを使って絵本のようにまとめました。
- 復興の記録(年表)
大切畑の復興の記録を年表にまとめました。

第2部 個人編

- みなさんが語る あの時
各世帯からお話を伺い、震災から今日までのみなさんの記憶や想いをまとめました。

■PR 冊子 (仮)小さな集落ですが まとまりが一番!!

村内外の方々に大切畑のことをもっと知っていただくために、大切畑の良いところも、そうでないところもお伝えする大切畑の教科書のような冊子です。

この冊子を読んで大切畑に興味を持っていただけたら、大切畑を気に入っていただけたらという思いで作成しました。

- ・はじめに
- ・大切畑はこんなところ
- ・大切畑のここが好き
- ・集落の人口、世帯数、年齢構成
- ・集落の組織
- ・集落のルール
- ・集落の催事
- ・大切畑の暮らし
- ・大切畑のこれから



編集委員による会議の様子



注) イメージ(案)です。
印刷物とは異なります。



お知らせ

3月13日(水)19時 山河の館

『むらづくり講演会×6集落活動報告会』を開催します。

当日は、大切畑編集委員の大谷幸一さん、山口誠一さん、田中憲聖さん、山本恵一郎さんから、半年間取り組んできた活動報告があります。みなさま、是非ご参加ください。

- 第1部 むらづくり講演会
- 第2部 視察報告会
- 第3部 6集落活動報告会

大切畑再生だより

【地区別版】第6号 平成31年3月発行

写真提供: 大谷信博さん

3月9日は「ありがとうの日」。サン(3)キュー(9)の語呂合わせ。奥様や職場のみなさんへ日頃の感謝の気持ちを伝えましょう。いよいよ3月。春の足音とともに大切畑の工事も本格化です。

『集落再生むらづくり』の事例視察に行ってきました。

◇五木村(熊本県)視察 1月26日(土)

「集落づくりの先進地に学ぼう!!」

- ・ダム建設計画により1,000人近くが離村した五木村では、現在「日本一の子育ての里」を目指し、多種多様な取り組みが進められています。
- ・視察には約30名が参加され、古民家を改修した簡易宿所の見学や、地元に戻って地域づくりに活躍される方、林業やサッカースクールを通じて起業を目指す人たちとの意見交換を行いました。
- ・大切畑からは田中憲聖さんと坂田智治さんが参加され、「若い人たちが頑張っている姿を見て感動した」「自分なりにできることを一つひとつやっていきたい」などの感想をいただきました。



《五木村》
上: 現地の方との意見交換
左: 郷土料理による昼食

◇^{こうげ}上毛町・玄界島(福岡県)視察 2月16日(土)・17日(日)

「人が人を呼ぶ地域づくり+復興の先進地に学ぼう!!」

- ・上毛町は福岡県の東端に位置する人口約7.2千人の町で、「地域づくり協議会」を設立し地域を元気にするための活動を展開しています。視察した有田集落では野草ピザづくりや農家民宿の取り組みについて学びました。
- ・平成17年の福岡県西方沖地震で壊滅的被害を受けた玄界島では、復興事業により整備された宅地や擁壁、改良住宅、道路、公園を視察しました。
- ・大切畑からは坂田明雄さん、明子さん、坂本英子さん、大谷光明さんが参加され、「復興のスピードに驚いた」「人を呼び込むのはやはり人である」「人の温もりが若い人を引き寄せる」「村外から人が住んでもらうように頑張りたい」「復興後の集落の新しい目標設定に取り組みたい」などの感想をいただきました。



《上毛町》野草ピザづくり



《玄界島》整備業後の町の視察

新区長 坂田明雄さん に抱負をお聞きました!

- ・まず月々の決まった行事をしっかりとやっていきたい。平成27年までは夏祭りをやっていた。昔は子供会もあった。レンタカーを借りて天草や城島高原に子供たちを連れていったりしていた。山でキャンプをやったこともある。楽しい思い出になる。
- ・空き地が増えるのが気がかりだ。空き地のままでは土地が荒れる。コスモスを植えるなどして大切畑を訪れる人を増やしたい。住んでみようという人には、行事などにも積極的に参加してもらいたい。



大谷幸一さん邸 上棟式

- ・大谷幸一さん邸の棟上げ式が2月21日に執り行われました。6月頃の入居を予定されているとのことで、震災後の新築住宅としては大切畑の第1号の建物となります。
- ・「これからどんどん続くんじゃないの(笑)」とお話されていました。



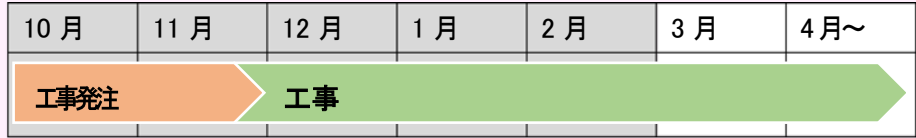
工事の進捗状況と今後の予定のお知らせ

【2019年3月時点】

大切畑集落は、先行工事である滑動崩落対策工の工事が完了しました。
残る擁壁工や移転用宅地造成等についても、施工計画の検討、土質試験や資材調達など、前段の準備を進めるとともに、最初に施工する箇所の工事の準備を進めています。
工事や用地測量に際し、みなさまにご相談や立会をお願いする場合がございます。
ご協力のほど、よろしくお願いいたします。

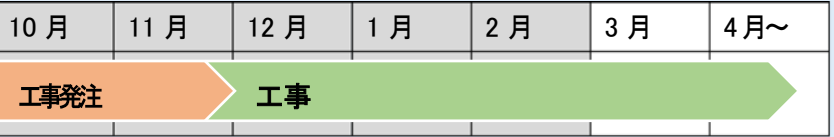
●滑動崩落対策工 【工事中】

- 地震の揺れにより滑り崩れた宅地について、地盤にセメントを混ぜて固めるなどの対策を行い、地震に強い宅地にします。
- 先行箇所については、12月で工事が完了しました。
- その他の箇所についても、工事発注が完了し、順々に工事を進めます。



●擁壁工、補強工 【工事中】

- 地震の揺れにより滑り崩れた宅地について、擁壁を復旧したり、既存の擁壁を補強します。
- 工事発注が完了し、順々に工事を進めます。



●移転用宅地造成 【工事中】

- 工事発注が完了し、工事の準備を進めています。



●用地測量 【境界立会完了、登記手続き中】

- 道路を拡幅する箇所や移転用宅地について、用地を分筆し買収するため、測量を行います。
- 12月16日に境界立会を行い、現在、登記手続きを進めています。



地区の皆様の要望を踏まえ、住宅等の再建予定があり優先する宅地から、順々に、擁壁や滑動崩落対策工の工事を進めます。現在、工事の準備を進めています。

集会所・消防詰所については、設計する建築家と一緒に、2月24日に話し合いを行いました。

【工事業者】 八方・宇都宮特定建設工事共同体
先行工事以外の滑動崩落対策工や擁壁工、移転用宅地造成等について、施工計画の検討、土質試験や資材調達など、前段の準備を進めるとともに、最初に施工する箇所の工事の準備を進めています。

西側の道路沿いを工事する際、通行止めとなるため、先に、迂回路となる中央の道路を作ります。現在、造成工事の準備を進めています。

ⓧ 工事期間中は道路が通行できなくなります。

